

# 05

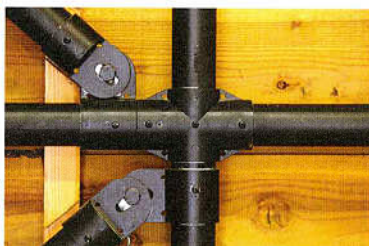
GARAGE LIFE EXAMPLE  
A RESIDENCE OF MATSUSHITA

## PLANNING DATA & MATERIALS

単管パイプを研究してガレージを考案。  
トライ&エラーも知識向上のため。

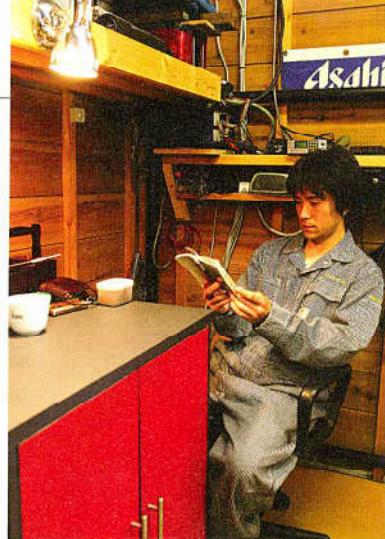


ガレージにはクルマを洗車するための水道と、汚れたツナギを洗濯するための洗濯機を設置。



単管パイプの接合も2種類を使い分けてコストを削減。パイプのカットは電動カッターですべて松下さんが行った。

で現金を握りしめてドアを購入しようと考えていたが、あまりにも金額が高く断念することになる。そこで考案したのがガレージドアも自作してしまうこと。アメリカのガレージドアメーカーよりモーターとヒンジを購入。ドア部分には頑丈で軽い板を探していたところ看板屋の友人にデラニウム材を教えてもらった。この部材を組み合わせてスイングアップのガレージドアにした。そして同じイベントで購入しようとしていた排気ダクトシステムも高価だったので自作することを決意。ホームセンターで販売しているパイプと、トイレで使用している換気扇を組み合わせてセットした。さすがに熱の問題があるのでパイプは劣化して交換はしているが、排気ガスをガレージから逃がす最低限の作業はできるそうだ。



ガレージの片隅に置かれた作業デスクで、作業ノートを見返していただいた松 downs さん。すべての作業記録が細かく記録されていた。

床塗料(ユータックE30)をインターネットで購入しペイント。余った単管パイプや木材を使って棚を造り、なるべく大きなスペースが使えるようなガレージにした。はじめての台風はなにが起きてもいいように、工具を持ってガレージに待機したが、水漏れすることなく3年が経過している。今では自分のスカラインのエンジンの載せ替えおよび、ミッションの載せ替えのほか友人のクルマまで整備ができ仲間が集まるガレージとなった。最近では仲間と夜な夜なバーベキューを楽しんでいる。期間は約半年、仕事が休みとなる日曜日だけのDIY作業で行ない実質24日、42人工で作業。1冊の思い出のノートにはブラッシュアップアイデアやメモがぎっしりと詰まっていたのが印象的だ。



上 / どうしてもガレージに欲しかったのがピット。クルマのサイズから幅1000mmを割出し、深さは作業しやすいように1000mmとした。

右 / エンジンをかけて作業することを考えて設置したかったのが排気ダクトシステム。自作で安くなるようにとコストは約8000円で仕上っている。

